

# 太田川総合開発事業 ~洪水調節機能の増強~

太田川総合開発事業は、令和6年度より治水機能増強検討調査に着手し、樽床ダム等において、事前放流など既存ストックを最大限活用する計画を検討した上で、さらなる洪水調節機能の増強が必要な場合には、ダムの整備について検討を進めます。

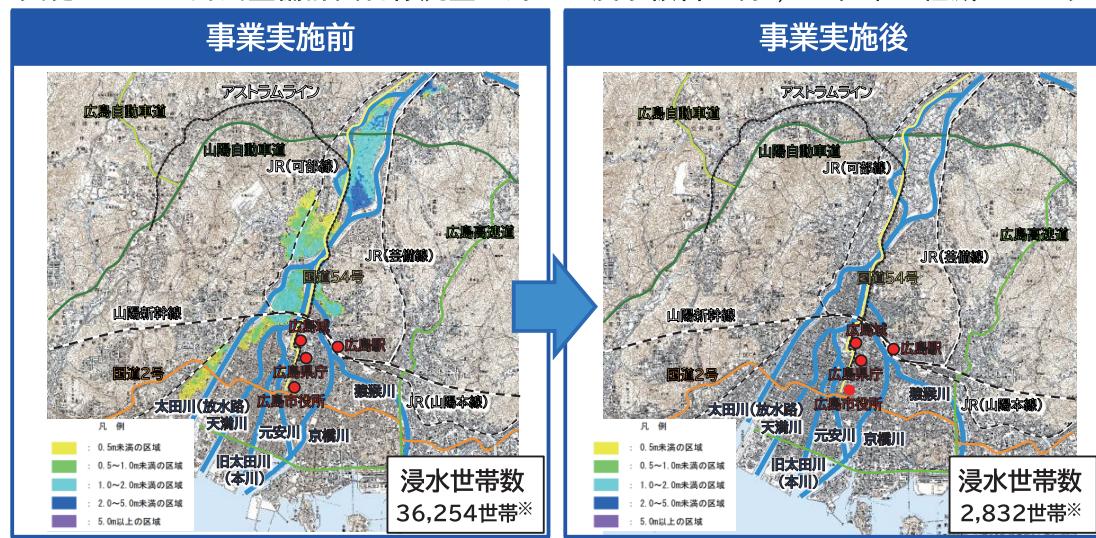
## 事業概要

- 場所：広島県山県郡北広島町  
広島県山県郡安芸太田町 等
- 目的：洪水調節機能の増強
- 諸元：未定（主な検討対象：樽床ダム等）



## 事業効果

- 太田川水系河川整備計画【大臣管理区間】に定める対策とあわせて、太田川総合開発事業の実施により、河川整備計画目標流量に対し、浸水被害が約2,800世帯に軽減されます。



※ 太田川水系（大臣管理区間）全体での外水による浸水世帯数を示す

## ダムの新規事業化までのプロセス

- 治水機能増強検討調査では、事前放流の更なる活用や放流操作の最適化など既存ストックを最大限活用することを検討・検証し、その結果ダムの改造・新設による洪水調節が必要となる場合には、合理的な事業計画の立案やコスト縮減の検討など必要な計画の見直しを行います。

### 計画段階

#### 治水対策に係る具体策の検討

○あらゆる選択肢を排除せずに検討を行い、ダム以外を含めた代替案との比較・評価を実施。

○その結果、ダムによる対策が有力である可能性が高い場合に、より具体的な調整・検討のため調査段階に移行。

【河川を中心とした対策】  
ダム、遊水地、河道掘削、堤防嵩上げ、排水機場等  
【流域を中心とした対策】  
雨水貯留施設、輪中堤、二線堤、田んぼダム等

### 計画段階

### 治水機能増強検討調査

#### 既存ストック活用の深掘り

#### 設計条件検討

#### 概略設計

○事業に関する基礎的情報を収集するとともに、事前放流など既存ストックを最大限活用する計画を検討した上で、ダム立地地域、ダム管理者等との協議・調整（既存ダム貯水容量の更なる有効活用等）を実施。

○上記の効果を確認の上、ダムの改造・新設による洪水調節が必要となる場合には、ダムの規模等の検討、各種調査や概略設計を実施。

○これらの結果を踏まえた合理的な事業計画の立案やコスト縮減の検討、必要な計画の見直しを行った上で、新規事業採択時評価を行う。

### 建設

#### 詳細設計

#### 用地補償調査

#### 水没者補償

#### 付替道路工事

#### 本体工事

### 建設